

## C 協働学習 (C 1)

### 主な学習活動

タブレット上で互いの作品を鑑賞し、感じたことや気付いたことを伝え合い、自分の見方や考え方を広げる。

### 1 本時のねらい

自分たちがつくり変えた場所の造形的なよさや面白さ、造形的な活動、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げることができる。

### 2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

Google Classroom

静止画撮影

### 3 参考にしてほしいポイント

Google Classroomに作品の写真を投稿し、子どもたちが自由に友達作品を見たり、コメントを送ったりする主体的な鑑賞活動を通して、見方や感じ方を広げることが期待できる。

段階場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
展開	自分や友達がつくり変えた場所の面白さや気付いたことなどの感想を伝え合う。	Google Classroomで作品の画像を共有することで、自由に見合ったり、コメントを記入したりすることができる。



「まわりがきれいでもいいね。」  
って、感想を送ろう。



コメントありがとう。  
私も送るね。



### 4 活用効果

それぞれのタブレットで、見たい作品を選んだり、写真を拡大したりして、みんなの作品を自由に自分のペースで鑑賞することで、進んで鑑賞の学習に取り組むことができた。また、感想を送り合い、交流する言語活動を通して、自分の見方や感じ方を広げることができた。タブレット上で作品やコメントを見返すことができ、欠席した子どもに見せたり、教師が評価のために振り返ったりすることに活用することができた。

### 5 アドバイザーからのコメント

子どもたちの作品を自由に見て鑑賞することができるのは、共有する機能があるからです。対話的鑑賞の観点からは、鑑賞とは、鑑賞する側の自由で能動的な活動だと言われます。子どもたちは、自分の考え方ややり方で、相手の作品から学んでいるのです。  
(東京工業大学 赤堀侃司)

コメント機能は他者からの感想を集めやすく、相互にコメントすることで作品を客観的に捉えることにつながりそうです。また、ポートフォリオ化することにより、児童にとっては今後の工夫を考えるきっかけにできそうですし、保護者の視点では現状を把握するのに役立ちそうです。(福島大学 平中宏典)